

J-STAGE利用規約の改訂について

2017年8月

知識基盤情報部



科学技術振興機構

本日の説明内容

1. 改訂の方針
2. 主な改訂内容
3. その他

1. 改訂の方針

■改訂の方針

(1)用語の統一と定義の記載

(2)JSTや利用機関の責務等を明確化

(3)利用機関によるJSTへの登載データ利用許諾範囲と、JSTによる登載データの取扱いを明確化

→利用許諾範囲(JSTによる利用条件、外部連携機関への提供範囲や提供条件)や利用機関への確認手続き等

(4)その他

(参考)用語の定義

本利用規約で使用する用語の定義は、以下のとおり。

- 「発行機関」とは、科学技術刊行物を発行し、若しくは発行を予定する学協会、国公立試験研究機関、研究開発又は研究開発支援を目的とする独立行政法人、財団並びに企業等の団体をいう。
- 「利用機関」とは、発行機関のうち、機構から本サービスの利用承認を得た団体をいう。
- 「科学技術刊行物」とは、発行機関が発行する科学技術(人文科学・社会科学を含む。)に関する論文雑誌、予稿集、技術報告書、調査資料等の逐次刊行物をいう。
- 「掲載データ」とは、J-STAGEに掲載された科学技術刊行物の電子化データをいう。
- 「書誌情報」とは、科学技術刊行物の記事を特定するために作成されるタイトル、著者名及び著者関連情報、著者所属機関名、科学技術刊行物の名称、発行年、巻、号、ページ、DOI、キーワード等の情報をいう。
- 「文献データベース」とは、機構が作成する科学技術刊行物等に関するデータベースをいう。
- 「外部連携」とは、掲載データを国内外に広く流通させることを目的として行われる、国内外の論文データ等提供サービスとJ-STAGEとのリンクサービス等による連携をいい、当該連携先のサービス運営主体を「外部連携先」という。
- 「法令等」とは、法律、制令、通達、規則、命令、条例、ガイドラインその他の規制を総称していう。

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
前文	本サービスの利用にあたって利用規約のすべての条項に承諾して頂くことを追記
第1条	<p>「本サービス」に以下の内容を新たに追記</p> <p>2. 利用機関は、本サービスを活用することにより、<u>高い出版倫理のもと、質の高い科学技術刊行物の国内外への情報発信及び流通</u>、並びに<u>オープンアクセスに積極的に取り組むもの</u>とし、本サービスの円滑な運営とJ-STAGEの品質向上を目的とした機構の取組みに協力する。</p>
第4条	<p>「利用機関の登録情報」を新たに追記</p> <p>利用機関は、J-STAGEに登録した利用機関に関する情報について、<u>正確かつ最新の内容に保つもの</u>とし、登録情報に変更が生じた場合、速やかに機構所定の方法に従い、<u>登録情報の更新手続き</u>をとらなければならない。</p>

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第3条	<p>「利用申請」をコンテンツ拡大時の要件緩和に対応するよう改訂。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) <u>発行機関が日本の団体であること</u>、又は、<u>科学技術刊行物の発行拠点、編集拠点、連絡拠点その他の発行に係る主要な拠点が日本に存在すること</u>(2) 継続的に科学技術刊行物を発行し、これを電子化してJ-STAGEに登載する体制及びJ-STAGEのシステムを利用する動作環境が整っていること(3) <u>科学技術刊行物の発行の主たる目的の一つが営利目的ではないこと</u>(4) 発行する科学技術刊行物の内容が第6条第1項に該当していないこと(5) 第16条及び第17条に違反していないこと(6) 利用申請において虚偽の申告がないこと(7) その他発行機関が本サービスを利用することが適当でないとは合理的に判断される事項がないこと

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第5条	<p>「科学技術刊行物の登載」に利用機関の義務及び注意事項を明記/追記</p> <ol style="list-style-type: none">1. <u>利用機関は、本サービスの利用が可能となり次第、発行する科学技術刊行物を速やかに電子化し、J-STAGEに登載しなければならない。利用開始後に発行する科学技術刊行物についても適時にJ-STAGEへの登載をするよう努めるものとする。</u>2. <u>利用機関は、登載に際しては、登載データに誤りが無いよう、正確な入力に努めるものとし、J-STAGEへの登載により、登載データがWebクロールによる複製の対象となることを予め了解する。</u>3. <u>利用機関は、登載データの内容に誤りが発見された場合は、速やかに正しい内容に情報を修正しなければならない。</u>

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第6条	<p>「<u>登載の禁止</u>」に以下の内容を追記</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>登載禁止事項の詳細を追記</u>→「<u>安全保障輸出管理</u>」に抵触する事項・<u>禁止事項登載時の対応を追記</u>→（<u>利用機関の報告義務、JSTによる削除</u>）
第8条	<p>「<u>認証情報の管理</u>」を新たに追記</p> <ol style="list-style-type: none">1. <u>利用機関は、本サービスを利用する際に必要となるID等の認証情報を自己の責任において厳重に管理するものとし、第三者に利用させてはならず、また、譲渡、貸与、提供等してはならない。</u>2. <u>利用機関は、ID等の認証情報が第三者に漏えいした場合又はそのおそれがある場合、直ちに機構に報告し、機構の指示に従うものとする。</u>

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第10条	<p>「<u>登載データの利用許諾</u>」に関し、その利用範囲や条件の詳細を明記 →<u>従来からの運用に変更はなし</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. <u>利用機関は、機構に対し、以下の各号に定める目的その他本利用規約に定める範囲において、登載データを利用し、第三者に利用を許諾することを無償で許諾するものとする。</u><ol style="list-style-type: none">(1) 本サービスをはじめとする機構が行う各種事業・サービスの質の向上(2) 本サービスの利用状況に係る各種統計調査、統計データの作成・各種利用(3) 学術・科学技術施策のための調査・分析・研究及びこれらの結果をまとめた報告書等の作成その他の利用(4) <u>文献データベースへの本文情報及び電子付録以外の登載データの収録、収録後の文献データベースの第三者への提供(有償無償を問わない)</u>6. 機構は、登載データの全部又は一部に関し、<u>バックアップを目的として、自己又は第三者をして複製することができる。機構は、複製した当該情報を必要に応じて第三者に提供することができる。</u>

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第12条	<p>「外部連携」先への提供情報と条件の詳細を明記 →<u>従来からの運用に変更はなし</u></p> <p>機構は、本サービス目的の実現に資するため、<u>登載データに含まれる以下の情報を外部連携先に提供することができるものとし、利用機関はこれを許諾する。なお、外部連携機関が第三者に本文情報及び電子付録を提供する場合は、J-STAGEに登載されたこれらのデータにリンクする方法によるものとする。</u>(1)書誌情報(2)抄録情報(3)本文情報(4)引用情報(5)電子付録(6)ライセンス情報(7)その他(ファンド情報、会議情報等)</p>

2.主な改訂内容

改訂後	改訂内容
第20条	<p>「免責事項等」に以下の内容を新たに追記</p> <ol style="list-style-type: none">3. <u>機構は、第6条第3項による登載データの削除、第18条による利用承認の取消し等の措置を行うことにより利用機関に損害が発生しても、何ら責任を負うものではない。機構は、第13条による本サービスの中断又は停止、第14条による本サービスの終了により利用機関に損害が発生しても、何ら責任を負うものではない。</u>4. <u>利用機関は、登載データが第三者の権利・利益を侵害する等、利用機関による本サービスの利用により第三者との間で紛争が生じた場合、利用機関の費用と責任でこれを解決するものとし、機構に迷惑や損害を一切及ぼさないものとする。</u>5. <u>利用機関は、本利用規約に違反して機構に損害が発生させた場合、これを賠償する。</u>

3. その他

利用規約改定に関する情報を以下のページに掲載しています。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/004_jp_menu_.html

[利用の学協会の方](#) > [説明会・セミナーのご案内](#)

Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic
科学技術情報発信・流通総合システム
総合電子ジャーナルプラットフォーム [J-STAGE]

サイト内検索 J-STAGEとは 図書館の方 研究者の方 **利用学協会の方** 導入検討中の学協会の方

利用学協会の方

What's New
新着情報

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

ご案内

対象コンテンツの拡大、Web掲載機能の開発について	新しい画面インタフェース(評価版)の開発について
リンクサービスのご案内	説明会・セミナーのご案内
JSTとNIIの連携・協力について	J-STAGEとNDL Search等の連携について
J-STAGE定期メンテナンスのお知らせ	J-STAGE Web API
Similarity Check(日 CrossCheck)について	投稿審査システムユーザーページ
J-STAGE3の開発について	J-STAGE改修リリースノート
定期的なパスワード変更のお話	

Submit your work to a journal on J-STAGE For Global Dissemination
科学技術 全て伝えます。 Science Portal
中国の科学技術の今を伝える。 Science Portal China
学会名鑑
J-GLOBAL 国際研究機関リンクセンター

関連情報はツイッター、
メールマガジン等でも
配信しております

J-STAGE Twitter: @jstage_ej

J-STAGE News e-mail

検索

3. その他

■お問合せ先

科学技術振興機構 知識基盤情報部

J-STAGEセンター

center@jstage.jst.go.jp

■施行日

平成29年10月1日(予定)

※別紙(J-STAGE利用規約改定表)は、趣旨を変えない範囲内で条文の構成や文章に修正が入る可能性がありますのでご了承ください。